

日刊 磐城時報

編輯者 石川文四郎
印刷所 磐城印刷局
發行所 磐城印刷局
電話 二四一
郵便番号 一四一
代價 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行一円 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年一百元
印刷部 印刷部 印刷部
電話 二四一
郵便番号 一四一
代價 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行一円 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年一百元

商工會議所を

平町に設ける

柏原、猪狩、明智の三氏が
十二日平町役場で打合せ

平町は未だ市制を布くに至らなから奔走中であつたが、大部分は言へば縣下に於て福島、若松、郡山三市に劣らぬ發展より商業會議所に類した平町商工會議所を示し商業も著しい進展を所を設けて平町の商業界を統一しつゝあり殊に商業方面に於て一したいといふ意見多く、最近猛烈なる競争を演ずるに至り商の爲め二十日午後三井呉服店柏原店によつては体面上利益を度外幸次郎、鶴屋洋品店猪狩庄平、視して之に参加するといふ有様仙臺屋呉服店明智吉の三氏がなつて來たためかうした事を平町役場を訪ひ種々打合せを處防く方法がないかと有志は兼てがあつた。

重役間で決定した 平銀、磐銀合併方針

純資産の査定をうけた上
預金は磐銀で支拂ふ

休業中の磐城銀行が平銀行と合併方法を講ずる事、その後併する交渉をすゝめてゐる事、磐城銀行と平銀行と合同する報の如くであるが、平銀行重役といふ事に決定した。會では合併或は合同の方針を大體左の如く決定した、即ち磐城銀行が日本銀行から特別融通を仰いだ三百萬圓は磐城銀行對平町地方の兩取引は漸く十日午後日本銀行の問題とし合同問題か後に至り平町南町木村支店に於ては全然切り離して處理せしむるが、百五十萬圓の初取引が行はれる事、而して磐銀の純資産は日たがその結果は最初製糸家筋及本銀行福島支店の査定をうけ磐城銀行家が期待してゐた如き想像銀の預金は純資産により磐銀がは全く裏切られて最高七圓、最千七百圓を編成全員の承認を得合はせをなした。

支店長交迭

七十七銀行平支店長を勤むる事
二ヶ年をの間銀行家としての才
能を証はれてゐた法學士小原長

磐銀に預金があるので 迷つた訓盲院豫算

十一日評議員會を開く

磐城訓盲院評議員會は十一日午、右豫算の經常部三千八百三前十時から訓盲院内に開き水野十圓、臨時部九千八百七十圓で理事長以下出席、大正十五年豫算部は前年に比べ百六十四圓決算歳入一萬三千五百七十七圓三十増加、臨時部は九千八百七十圓七錢、歳出一萬四千九百九十九圓で前年より八千六百三十圓の減五十六錢、差引残二千五百五十圓を示してゐる、之れは敷地買七圓八十一錢、内五百八十八圓收費として山崎與三郎氏へ四千三錢を繰越金とし千九百六十九圓二百十圓外敷名に支拂ふ金を延圓七十八錢を基本金に戻入する期したためである。

地方 蘭取引

磐城銀行に定期預金二千六百五十三圓、當座預金二千八百六十圓、平町材木商組合總會は十一日三圓の預金がありこの預金は午後一時から組合長榎田榮太郎來如何になるかは目下の裁判明氏宅に開き幹事の補欠選舉をなはしないが、預金があるものとし中川長祐、永山富次郎兩氏當選し終つて組合員の鐵道輸送材入一萬三千七百圓、歳出一萬三木は清宮運送店による旨の申し

窃盜詐欺漢石川文四郎 犯罪三十余件自白

平町五丁目竹次郎三男窃盜詐欺前科二犯石川文四郎(三〇)は出獄後詐欺常習の罪を重ねながら各地を放浪しこの程一仕事する目的で水戸市に入り込んだところを舉動不審で水戸署刑事に檢査されたが取調に對し福島、茨城兩縣に跨がる偽刑事外三十件を自白した。犯罪左の如し。
▲二月中旬來町大浦ツキノ方で二圓騙取▲同日同町自轉車屋芳賀武一方で自轉車一輛▲同月下旬中郷村大字小野自轉車業植木竹次郎から一圓七十錢騙取▲同日大津町菓子製造業鈴木貞方軒下から自轉車を偽取▲同日同郡福形村大字友部伊藤藤三郎方から六十錢及び風呂敷一枚騙取▲同所石川トヨ方から鶏卵二十個及び菓子二十錢騙取▲同所高橋松方から現金十圓を騙取した上三圓九十錢の無錢遊興▲三月二日笠岡町笠岡町木信市方から紺サージ洋服一着三十五圓を騙取▲同日水戸觀梅に鈴木を誘ひ自分が金を拂ふと安心させて奈良屋町伊藤トク方に登樓二十圓を不拂逃走▲同月磯原町料理店鶴見亭武藤サノ方に宿泊し黒ラシヤオーバノ一枚三十圓、詰襟洋服七圓を偽取▲平町飲食店港屋女將に雇傭を世話すると稱し銚子羽織外衣類三點騙取▲同日松原町藤枝隆方で時價三十圓の二重廻し一枚▲助川町で邂逅した同郡賀美村小菅福島捨吉を日立鐵山役員に世話するに欺き三十圓を騙取▲太田驛から水戸驛間列車内で乗客の風呂敷包から現金二十圓在中金通帳一冊偽取▲平町小野政江妻イチチから外套一枚騙取▲

鯉豐漁の報

磐城丸から無電
本縣水産試験場漁場調査船磐城丸は去る五日鯉漁場調査に千葉縣沖合に出帆したがその結果千五百尾を釣獲する有望で魚群発見したとの無電をよせて來た江名から一隻出動したところ何れも千五百尾を漁獲し七日歸港したので此報を傳へ聞いて本縣各濱は一時に活氣を呈し出動縣清水至氏は佐藤榮吉、西川稔で本縣沖合に進み來る模様だ

會計検査

平區裁判所
六名隊伍を組んで
平町で無錢飲食
三名だけ捕はる

會計検査院第三部第一課副検査準備を初めたが魚群も續々とし官清水至氏は佐藤榮吉、西川稔で本縣沖合に進み來る模様だ
平町で無錢飲食三名だけ捕はる
秋葉郡大久村大字大久生れ當時に至り懷中無一文で十圓位を飲住所不定無職若松重雄(三二)好み其他數軒で飲み荒してゐる事吉を日立鐵山役員に世話するに欺き三十圓を騙取▲太田驛から水戸驛間列車内で乗客の風呂敷包から現金二十圓在中金通帳一冊偽取▲平町小野政江妻イチチから外套一枚騙取▲

南書記を隨へ十日來平昨十一日より平區裁判所及平支部の會計検査中である。
▲十三日會例会 平十三日會例会は十三日午後七時から平銀行樓上に開き左の講演がある。
▲日本海々戰陸軍大佐山の内武夫▲經濟講話第一講マルサス人口論平商業學校長吉田利吉
印刷物は 加納活版所

